



人形えほん のぼらの村のものがたり ②

小川のほとりで

ジル・バークレム=原作



原作者紹介

ジル・バークレム (Jill Barklem)

1951年にロンドン郊外にあるエピングの森の近くで生まれた。ロンドンのセント・マーチンズ美術学院に学んだが、毎日ロンドン市内に通学するうちに、エピングの豊かな自然と生活をあらためて見直すようになり、それが『のぼらの村のものがたり』シリーズとして実を結んだ。

1981年度第16回世界絵本作家原画展（至光社、丸善共催）みみずく賞、1982年度ポーニャ国際児童図書展エルバ賞を受賞。

人形えほん のぼらの村のものがたり② ^{おがわ}小川のほとりで N.D.C.726 28p 18cm

1998年7月10日	第1刷発行	発行者	野間佐和子
		発行所	株式会社 講談社
			東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001
		電話	東京(03)5395-3534(編集部)
			東京(03)5395-3625(販売部)
			東京(03)5395-3615(製作部)
原作	ジル・バークレム		
構成	柴田こずえ	印刷所	大日本印刷株式会社
装幀	湯浅レイ子(ar)	製本所	大村製本株式会社

落丁本・乱丁本は、講談社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえいたします。

なお、この本についてのお問い合わせは、児童局幼児図書出版部あてにお願いします。

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

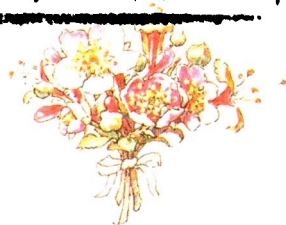
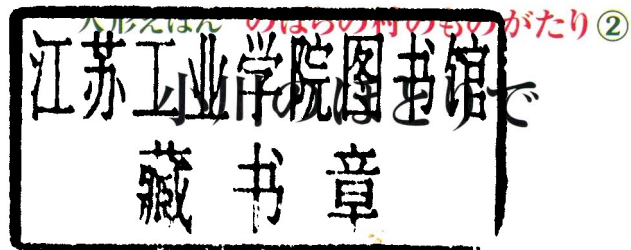
定価はカバーに表してあります。

Japanese Edition ©KODANSHA 1998

Printed in Japan

ISBN4-06-268701-1(0)

(児幼)



ジル・バークレム=原作

講談社

BRAMBLY HEDGE-SUMMER STORY

Text and pictures ©1998 Jill Barklem

First published by Kodansha Ltd., Tokyo

with arrangement by HarperCollins Publishers Ltd., London
and HIT Entertainment Plc, London

Printed and bound in Japan

にんぎょう 人形えほんの、のぼらの村から

いけがきにそってつづく、のぼらの
むら。木の根や、みきにくらすねずみた
ちは、そぼくで、しあわせにみちた生
かつ
活をおくっています。



げんさく
原作のストーリーをふくらませてで
きた、みりよく
魅力いっぱい 애니메이션。
やんちゃなウィルフレッド、かわいら
しいプリムローズ。やさしいアップル
おじさんや、のんきなバジルも、みん
ないます。



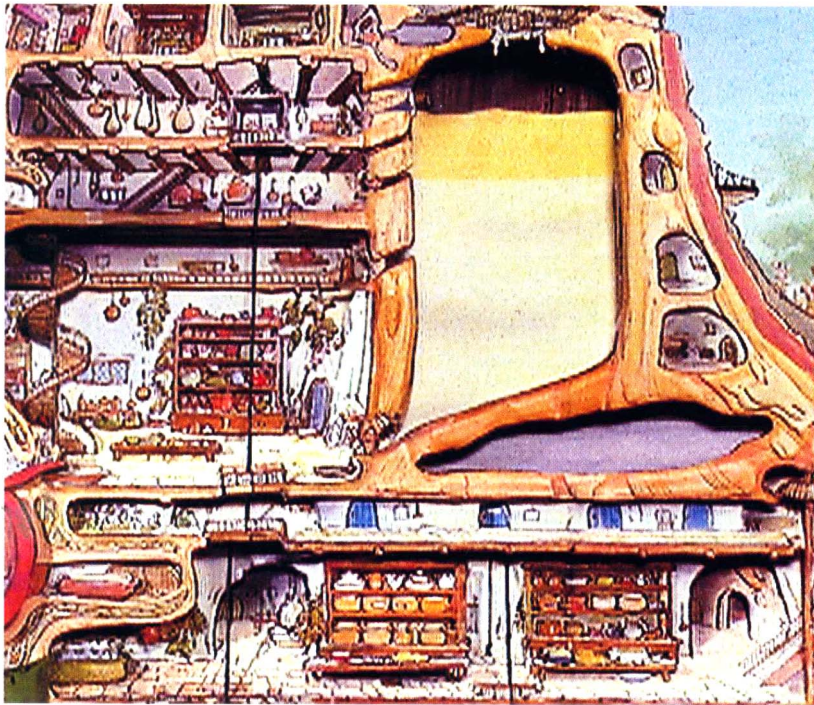
にんぎょう
えほんでみる人形アニメーションの世
かい
界に、さあ、どうぞ。



のぼらの村^{むら}のちかくにある、小川^{おがわ}のほとりに、こな
ひきごやとチーズごやがありました。

チーズごやのしごとをひきうけているのは、ポピー・
アイブライトです。なかよしのめうしたちがわけてく
れるミルクでチーズをつくります。しごとがおわると、
ポピーは水車^{すいしや}のそばをさんぽして、つめたい水^{みず}しぶき
をあびて、すずみます。

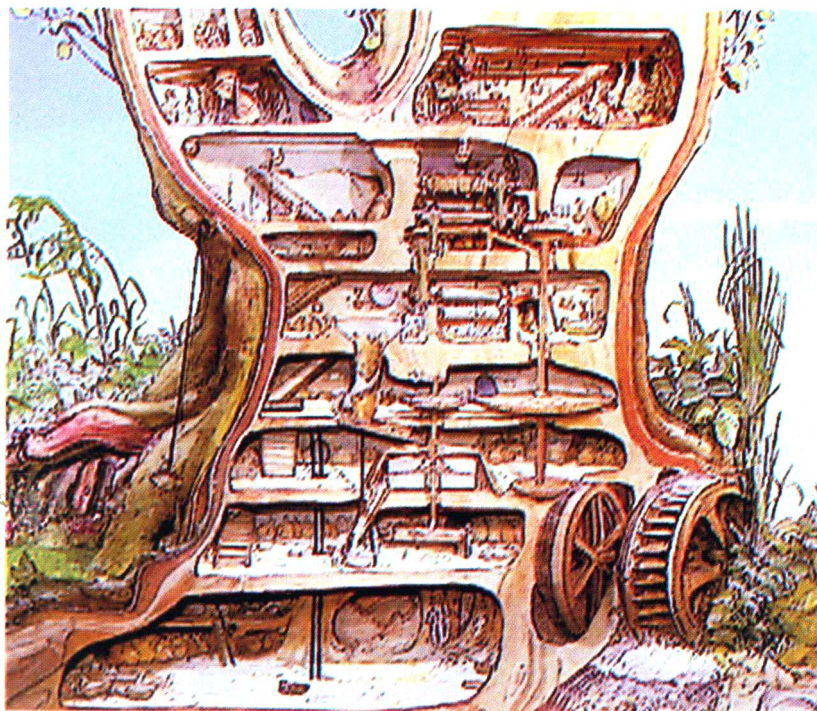




チーズごやの川^{かわ}しもにあるこなひきごやでは、こなやのダスティ・ダグウッドがはたらいています。しっぽのさきからひげのさきまでこなだらけなので、ダスティとよばれています。

天気^{てんき}のいい日^ひ、ダスティも小川^{おがわ}のほとりをおるきます。そして、さんぽは、チーズごやまでつづきます。





チーズごやのちかくでみかけるポピーを、ダスティは、とてもきれいだとおもっていました。ダスティが、チーズごやのほうへさんぽすることがふえ、日かげではなす、ふたりのすがたは、だれがみてもしあわせそうです。

そのようすをみて、のぼらの村のねずみたちは、「ダスティがいつポピーにけっこんをもうしこむのだろうか。」と、うわさしています。ウィルフレッドだけは、みんながふたりのはなしばかりするので、すこしうんざりしていたのですが。







ふたりのことにねっしんなのは、プリムローズです。ウィルフレッドをさそって、あるたくらみをします。ダスティのきこえるところで、ポピーに「だれとけっこんしたいか。」ときくのです。

「けっこんしたいのは、のぼらの村^{むら}で、いちばんやさしくてハンサムなねずみさん。」

とポピーがいました。ダスティは、それが自分^{じぶん}のことではないとおもって、つづきをきかずに、いなくなっていました。ほんとうは、ダスティのことだったのに。

ウィルフレッドはしかたなく、ダスティをおいかけて、「ポピーがいていたのは、ダスティのことだよ。」と、おしえてあげました。



「ポ……ポピーとぼくは、けっこんいたします。」

ダスティは、ようやくポピーにけっこんをもうし
こみました。そして、^{むら}村じゅうのねずみたちをあつ
めて^{はつびよう}発表します。

「まあまあ、おめでたいこと。」

「おめでとう、ダスティ、ポピー。」

みんなは、およろこびです。けっこんしきは、
^{お がわ}小川にいかだをうかべてすることになりました。プ
リムローズはポピーのつきそい。ウィルフレッドは、
いかだづくりを、てつだえることになったのです。







ねずみたちは、けっこんしきをするいかだづくりを、
はじめました。ポピーはひまをみつけて、ウエディング
ドレスをつくれます。

そして、けっこんしきの^ひ日がやってきました。

のぼらの^{むら}村の^{なつ}だいどころは、おいそがし。夏のつめ
たいごちそうがつくられます。ひやしたクレソンのスー
プ、たんぽぽのサラダ、はちみつのクリームにシラバズ、
メレンゲもありました。

